生きがい通信

No.186

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和３年９月30日現在
会員数:886名
男性696名 女性190名

就業先訪問

社会福祉法人 豊立会
特別養護老人ホーム『玲光苑習志野ローズ館』

今回は、谷津3丁目にあります、社会福祉法人　豊立会　特別養護老人ホーム『玲光苑習志野ローズ館（以下「ローズ館」）』を訪問させていただきました。

ローズ館は、7年前（平成27年2月）に開設され、1階は開放感あふれるパブリックスペース、2階は多床室で4名居室が14部屋、2名居室が2部屋で定員が60名。3階はユニット型個室として30名、ショートステイ利用10名の定員40名、合計100床で構成されております。

ローズ館の理念は、地域の方々との共生、共働の精神をもって、信頼される拠点の構築を常に目指しておられるとのことでした。

当シルバー人材センターからは【食堂衛生業務】として、女性4名が派遣されております。入居者がスムーズに食事（朝、夕）ができるように下膳やテーブル・床の清掃を行っており、気配りが必要な仕事ですが、ローズ館スタッフともコミュニケーションも十分にとられていると好評でした。

なお、現在はコロナ禍のため営業しておりませんが、1階に併設されております「花の実園」が運営するカフェ『レポス』が再開されると、一層の地域交流が期待されるとのことでした。

最後に取材協力いただきました係長 布留川様、心よりお礼申し上げます。今後の更なるご発展を祈念申し上げます。

（広報部会）

No.1 私のふるさと紹介

実籾地区　髙橋　恒男

「故郷と私」

上越新幹線に乗る。「新清水トンネルを抜けると次は越後湯沢駅です」とアナウンス。新潟県の湯沢町は私が生まれた故郷だ。町は県南東部、南魚沼郡に在り、清水トンネルが開通後古くからの温泉と観光の町として栄えた。登山者への拠点であり、スキー場を数有す。小説川端康成の「雪国」が映画化され舞台となった町で広く知られる。

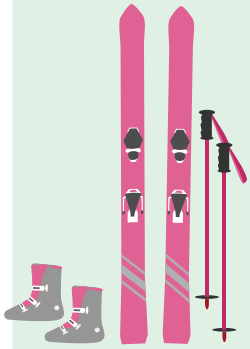
正月盆暮の帰郷は、必ず町を散策。父母亡き後は墓参り以外足が遠のいたが、かつて有った思い出有る細道、小川、家屋や店、校舎等の幻影と巡り合い、唯一昔に戻って、追憶に浸れる。幼い頃の情景を思い浮かべる。

雪国湯沢はスキーのメッカ、大自然の岩原、苗場、新幹線がスキー場迄乗り入れるガーラスキー場は有名。子供の頃学校の体育はスキーが主で、寒くて気が向かぬ時はズル休みも。高学年の時転倒しスキー二本折って以来スキーから遠のき、選手に縁が無かった。

山に囲まれた湯沢は、山の恵みの宝庫だ。春一番に芽吹くフキノトウや木の芽等子供の頃から舌が覚えたほろ苦さは、大人になっても忘れない味だ。店頭に見つけると即買い占める。秋山は、山栗、山ぶどうや茸狩りを楽しめる。棒を振りかざして、山は遊び場であった。よくぞ熊に出くわさなかった。町の東山裾に流れる清流魚の川は鮎、鰍を捕り乍らプール代りの遊び場だ。自然相手に身に付いた泳法は今だ我流。真冬の雪は一夜に二メートルも積る。消雪道路になってから除雪に明け暮れは解消されたが、往事はこんな土地には住みたくない気持だった。幸いに雪国で培った忍耐は、歳と共に衰えるが、気力に替って今の私の支えだ。

栄枯盛衰は世の習いと言う。町は昔の栄華は影を潜め色あせても故郷は私に最高の思い出を作ってくれた。

「故郷は遠きにありて思うもの」室生犀星詩の一節。この心境に浸ると故郷を思い出す。思いの電車に乗って故郷に行って来よう。



No.2 私のふるさと紹介

谷津地区　種田　祝次

千葉都民と称せられる約半世紀に及ぶ現役時代を習志野市で過ごしてきた者にとって〝ふるさと〟と言われても、はて？どこかなと考えてしまう。ふるさとを郷里、郷土、田舎、在所、国もとなど〝生まれ育った土地〟を指すとすれば、15年間と短いが昭和生まれの小生のそれは岐阜県は大垣市となろう。

習志野市の住人になったのが所帯を持った直後のおよそ42年前で、造成地、秋津に建設された公団住宅である。家族構成で住居を変えるという思考の変化で18年後に谷津パークタウンに転居、気が付けば計43年もの間習志野市にお世話になっている。私と連れ合いには今でも帰郷できるふるさとは存在するが、授かった子たちは生まれ育った習志野市をどのように捉えているのだろうか。

では大垣市について話そう。会社勤め時の自己紹介で大垣という地名を出すと東海道線利用の人から、東京23時台発の夜行「大垣行」乗車での苦い経験、乗り過ごしを話題に出す人がいた。当時は翌朝5時ごろ着で20分後発の兵庫県は「明石行」に接続していた。

養老山、伊吹山、揖斐の山々の伏流水と木曽川、長良川、揖斐川の三大河川から生まれた豊富な地下水を有して水の都と呼ばれ、繊維や化学産業が栄えていた。諸説あるが、山と水が西美濃地方の文化を創り出す人々を育み、角餅と丸もちの境界、輪中（わじゅう）など、〝物語〟にして語ることができる。近くには、西に滋賀県堺の関ヶ原、東には斎藤道三や織田信長の岐阜城が立地する金華山がそびえている。写真は、毎年5月の大垣まつりの山車の一つである。お囃子を鳴らし街中を練り歩いた幼少時を鮮明に思い出す。1時間は語ることができるだろう。

子どもたちは習志野市をどのように語ることになるのだろうか。親として何ができ、残せたのだろうか。

私のペットライフ

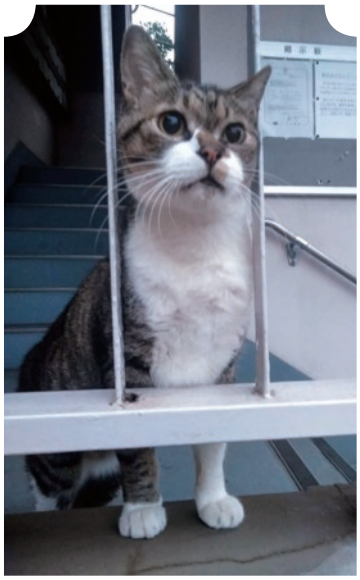
袖ヶ浦地区　中村　眞佐子

「みたさん」

　みたさんは、昔、地域猫として駐輪場に滞在(私の自転車の後カゴ)、知る人ぞ知る猫でした。いっぱい声をかけてくれる人がいました。
　「みたさん」の様子がおかしいので、私は、見かねて動物病院へ連れて行くと猫エイズと診断され、外猫として置いておけば命に関わると言われてしまいました。そこで、2017年7月7日から一緒に住むことにしました。

【名前の由来】
　言うことをきかない猫でしたが、駐輪場に先住猫がいると、石塀の横から半分顔を出してじーっとこちらを見ている愛らしい姿～。女優市原悦子さんの「家政婦はミタ。」のテレビ番組から〝みたさん〟と名付けました。

　同居してからは、初めての子育てのように、ちょっとの事でも病院に連れて行きました。連れ回したことで、かなりのストレスをかけてしまい、反省しています。
　今では無くてはならない相棒。そして宝物です。



みたさん

※新企画です。皆さんのペットも紹介してみませんか？？！(広報部会)

女性交流会 第 61 回

2021 年 9 月 24 日（金）
午後 1 時 30 分より
会議室にて

『夢の輪使り』

『絵手紙』を描こう

始める前のお願い(心構え)

◉黙描…黙って描く
◉純情…見えたまま、感じたまま
◉尊己…自分を尊び、自身を持つ（オンリーワン）
◉喜楽…ご機嫌よく、喜んで楽しむ
◉受容…共感しても、反感は持たない

それぞれが、心のままに自由な画風で
心から楽しめました♥

行事予定

入会説明会（定例 月3回）

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

就業相談（予約制、会員限定）

毎月第2・第3水曜日
午後1時～（30分単位）
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日
午前9時～
袖ケ浦作業所
毎月第4木曜日　午前9時～
シルバー人材センター会議室

※なお、新型コロナウイルス感染防止のため、急遽中止となることもございますので、まずはシルバー人材センターにお問い合わせください。

（事務局）

支援要望活動

令和３年９月６日（月）、行方会長、市村副会長、市瀬常務理事が習志野市長宮本泰介様、市議会議長清水大輔様、市議会副議長鮎川由美様と面談し、全シ協からの【決議文】を基に「シルバー人材センターへの支援要望活動」を行いました。

また、令和３年９月２２日（水）には、衆議院議員小林鷹之様の事務所を訪問させていただき、同様の活動を行わせていただきました。

編集後記

「組織はリタイアしても、人生はリタイアしない」。加齢に伴う体調管理に努める一方で、健康寿命とか余命が話題になる高齢期間を少しでも豊かに過ごす狙いで新たな社会に接し、未経験な刺激を楽しんでいます。人生１００年時代と言われていますが、そこまでの長生きは望まず、身近に存在するシルバー人材センターでの活動を通じて、次世代が受け継ぎやすい環境づくりに努められればと考えています。

広報部会、新メンバーで、当「生きがい通信」を作成しお届けします。社会との関りを身近に感じる皆様の前向きな声を共有して充実した生活を共に手に入れましょう。

（広報部会）

川柳　応募作品

お題：【無題】

大空を飛ぶ翼、減り、満月に終息の願いをする
年寄りを　欺く広告　目に余る
（ペンネーム ならしのごんべい）

盆に会おう　5年ぶりの友　感染増え
（ペンネーム 10代は強肩）

あの人の　あの人の名前　出てこない
背が縮む　過ぐる年毎　少しずつ
（ペンネーム　小太郎）

四季めぐる　元の自然を　早よ見たい
（2874小倉 紘　谷津）

次回（新年号）のお題は次の通りです。
【　無　題　】
締め切りは「11月19日（金）」必着とさせていただきます。

『お詫びと訂正』
2021年７月号（通算185号）の吉野和男前会長の作品を誤って掲載してしまいました。下記の通り、正しいものを再掲するとともにお詫び申しあげます。

いざさらば　共に歩みし　人々よ